



2023年7月18日

各 位

会 社 名 アイサンテクノロジー株式会社  
代表者名 代表取締役社長 加藤 淳  
( 東証スタンダード コード 4667 )  
問合せ先 取締役経営管理本部長 曾我 泰典  
( Tel 052-950-7500 )

### WingEarth 建築物損傷評価オプションリリースのお知らせ

2023年7月11日に国立研究開発法人 建築研究所より「三次元点群レーザ計測を用いた被災建築物の損傷評価に資する計測および評価手法」が公開されました。

アイサンテクノロジーでは、大規模点群処理ツール WingEarth において上記成果物の「地上レーザスキャナを用いた被災建築物の補修補強計画に資する計測および損傷評価の手引き(案)」に沿った作業を速やかに行えるよう、国立研究開発法人 建築研究所「点群データを用いた被災建物の損傷 評価手法の普及に資する検討」に係る共同研究に2022年度より参画し、真値推定、浮き剥落検出、層間変形角算出等の共同研究成果に基づいた機能を一部搭載して、2023年3月に WingEarth 建築物損傷評価オプションの先行リリースを行いました。

詳細につきましては別紙をご覧ください。

以上

## WingEarth 建築物損傷評価オプションリリースのお知らせ

2023年7月11日に国立研究開発法人 建築研究所より「三次元点群レーザ計測を用いた被災建築物の損傷評価に資する計測および評価手法」（以下、本評価手法）が公開されました。本評価手法では、既存鉄筋コンクリート系構造を対象として、レーザスキャナで計測された3次元点群データを用いて、地震により生じた崩壊建築物を把握する方法や、地震により建築物に生じた損傷を評価する方法の開発を実施し、評価法の普及のための成果として「航空レーザを用いた崩壊建築物の分布把握に資する計測および評価手法ガイドライン（案）」および「地上レーザスキャナを用いた被災建築物の補修補強計画に資する計測および損傷評価の手引き（案）」（以下、本手引き）を策定しています。

国立研究開発法人 建築研究所 [※外部リンク]

<https://www.kenken.go.jp>

三次元点群レーザ計測を用いた被災建築物の損傷評価に資する計測および評価手法 [※外部リンク]

<https://www.kenken.go.jp/japanese/contents/publications/prism/index.html>

地上レーザスキャナを用いた被災建築物の補修補強計画に資する計測および損傷評価の手引き（案）

[※外部リンク]

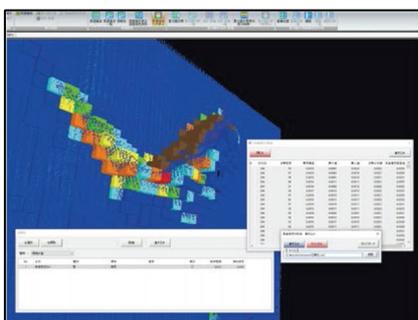
<https://www.kenken.go.jp/japanese/contents/publications/prism/5.pdf>

アイサンテクノロジーでは、当社製品である大規模点群処理ツール「WingEarth」を用いて、本手引きに沿った作業を速やかに行えるよう、国立研究開発法人 建築研究所「点群データを用いた被災建物の損傷 評価手法の普及に資する検討」に係る共同研究（以下、本共同研究）に2022年度より参画し、真値推定、浮き剥落検出、層間変形角算出等の本共同研究成果に基づいた機能を一部搭載して、2023年3月に「WingEarth 建築物損傷評価オプション」の先行リリースを行いました。

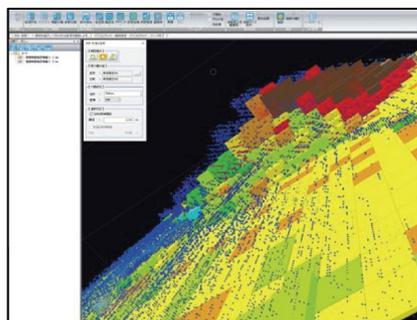
本成果に加え、今後も本共同研究の成果を随時 WingEarth に機能として搭載することで、WingEarth を設計事務所やゼネコン、補償コンサルタント会社を始め、幅広い業種へ展開して参ります。

WingEarth 製品 HP [※外部リンク]

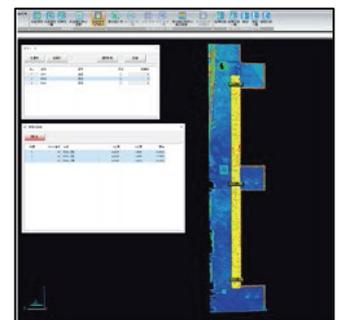
<https://www.aisantec-geo.jp/service/wingearth/>



真値推定



二時期差分による  
浮き、剥落の検出



層間変形角